

令和4年春の外国人叙勲 台湾人受賞者（3名）に対する勲章伝達式の 実施について

令和4年4月29日、日本政府は令和4年春の外国人叙勲受賞者を発表しました。台湾からは3名が受章され、陳鴻基氏が旭日重光章、李永熾氏が旭日中綬章、林定三氏が旭日双光章を受章されました。

台湾における新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響を受け、勲章伝達式の開催が遅れておりましたが、泉裕泰・当協会台北事務所代表より8月24日に李永熾氏、9月14日に林定三氏、9月30日に陳鴻基氏に対してそれぞれ勲記及び勲章が伝達されました。

陳鴻基氏

勲 等：旭日重光章

主要経歴：元亜東関係協会会長、元台北駐日経済文化代表処副代表

受章理由：日本・台湾間の友好親善及び相互理解の促進に寄与

伝達式ご挨拶

泉代表をはじめとする日本台湾交流協会台北事務所が、代表公邸において、このような温かく入念な叙勲伝達式を催してくださったことに感謝申し上げます。

今回、叙勲を受けたことは、私の人生最大の光栄です。ご在籍の皆様の御支援、御協力があったからこそ、私はこの栄誉に与れました。しかし、その中でも特に感謝したい方がいます。それが私と特別な御縁のある泉代表です。

私が台湾の駐日代表処の副代表を務めていた頃、泉代表は外務省の中国課長でいらっしゃいました。当時、駐日代表処と中国課の関係は非常に密接でした。日台間には国交がないため、何をすることも様々な壁にぶち当たりました。そうした際、泉代表はいつも体を張って台湾を助けてくれました。日本が台湾人の訪日観光に対する査証免除措置を開始した際、多くの台湾人が駐日副代表であ

った私に謝意を表しましたが、実際には、泉課長の強力な御支持によって実現したものです。この場をお借りして、当時の泉課長の台湾に対する御支援に対し、あらためて感謝申し上げます。



泉代表より勲記伝達



陳鴻基氏による謝辞

最後に日本と台湾がますます繁栄し、将来の日台関係が皆様の協力の下、ますます発展することを祈念いたします。

李永熾氏

勲 等：旭日中綬章

主要経歴：元台湾大学歴史学部教授

受章理由：台湾における日本近代史研究の発展及び日本・台湾間の相互理解の促進に寄与

伝達式ご挨拶

私が日本の歴史を研究し、日本文化を探求してきたのは、日本がいかにして、自らの主体性に基づきながら唐の文化と西洋の文化を取り入れてきたのかを理解するためであり、それによって自国の文化を豊かにし、制度を変えていくことを志したからですが、それは、研究の道を歩む者にとり、当然になすべきことでした。私の回想録が日本政



泉代表より勲記伝達



李永熾氏による謝辞

府の目にとまり、このような荣誉ある勲章を授かることになるとは、本当に思いもしませんでした。ここに深く感謝申し上げるとともに、誠に光栄に存じます。

この荣誉ある受章の知らせを聞いたとき、五十年前のことを思い出さずにはいられませんでした。

日本に足を踏み入れて間もなかった当時、私は日本社会の激しい脈動と学問の多様性を肌で感じ、そして、翻訳書籍の圧倒的な豊富さに、まるで長らく待ち望んでいた慈雨ようやく出会えたかのような感動を覚えました。

そこで私は、私の気質と、台湾の社会に相応しい思想や知識を探索しはじめ、大塚久雄教授に出会いました。そして大塚先生を通じて、ドイツの社会学者、マックス・ウェーバーの存在を知りました。彼らは私に、近代資本主義の精神とはいかなるものか、また未来についてしっかりと考え、その中から自分にとって、社会にとって最善の選択をし、選択をした以上は責任を担わなければならない、ということを教えてくれました。

丸山眞男教授にも出会いました。彼は私たちに、流れに身を任せたり、責任転嫁をしたりせず、強靱な主体性を持つことを求めました。同時に、個人も社会も自由でなければならず、自由と平等な対話があってはじめて、真の民主があるのだということ、教えてくれました。

日本の先人たちから学んだものの重さは、言葉では伝えきれません。この場をお借りして、今は亡き彼らに、回想録に記した日本の専門家おひとりおひとりに、衷心からの感謝を申し上げます。

林定三氏

勲 等：旭日双光章

主要経歴：鼎三國際企業有限公司会長、やまがた特命観光・つや姫大使、食材王国みやぎ大使、やまなし大使、島根県雲南市PR大使

受章理由：台湾における日本産農林水産物・食品の紹介を通じた日本食文化の普及に寄与

伝達式ご挨拶

2016年の日本食海外普及功労者表彰において、安倍晋三元内閣総理大臣とお会いして、表彰状を授与されると共に激励を賜ったことは私にとって人生最高の栄誉でした。また、今回、台湾における日本産農林水産物・食品の紹介を通じた日本食文化の普及により、令和4年春の外国人叙勲で『旭日双光章』を受章し大変光栄に思います。

ここ3年、世界に広がった新型コロナウイルス感染症の影響によるサプライチェーンの停滞及びロシア・ウクライナ戦争によるエネルギー価格の上昇は、日本の貿易に負の影響を与えています。さらに直近では円安が進行しており、国内経済をより大きな力で推し進めていく必要があります。

10月に日本と台湾は国境の開放を発表しましたが、日本各地では台湾への農水産品の輸出及び観光誘致に力を注いでいます。まさに今こそ、より多くの台湾産農水産品を日本へ、より多くの日本産農水産品を台湾へ輸出する絶好のタイミング

です。そのほか、既に数年にわたって実施してきた日台双方の農業分野における交流やイノベーション創出に向けた交流のほか、日台観光産業の連携による新たな利益の創出を積極的に進め、両国にとってウィンウィンの関係を作り出すことに期待したいと思います。



泉代表より勲記伝達



林定三氏による謝辞